

# 高年齢労働者の災害、 増えていませんか？

令和2年3月に策定された「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」では、事業者には、職場環境の改善や高年齢労働者を対象とした体力チェックによる体力の状況把握、安全衛生教育などの労働災害防止対策が求められています。中災防では、安全衛生担当者、産業保健スタッフ、人事労務担当者などの安全衛生教育を行う方むけに研修を実施し、皆様の活動を支援しています。



## I 高年齢労働者の安全と健康確保のためのセミナー

- **基本コース** 問い合わせ先：教育ゼロ災推進部  
TEL: 03-3452-6257

「高年齢労働者の安全と健康確保のための職場改善ツール」である「エイジアクション100」を活用したガイドライン対応の具体的な進め方について学びます。



- **安全衛生教育専門コース** 問い合わせ先：健康快適推進部  
TEL: 03-3452-2517

詳しくは裏面へ →

### 基礎編

高年齢労働者に対する安全衛生教育の内容、管理監督者の責任や配慮すべき点などを学びます。また、安全衛生教育実施上の課題について情報交換を行います。



### 実践編

高年齢労働者向けの安全衛生教育（転倒、肩こり・腰痛、生活習慣病対策）の具体的な進め方と指導方法を演習を通じて学び、実践につなげます。



## II 転倒災害防止のための身体機能向上セミナー

問い合わせ先：健康快適推進部 TEL: 03-3452-2517

ガイドラインで体力チェックの方法として推奨されている「転倒等リスク評価セルフチェック票」の使い方やその結果を踏まえた身体機能の低下を防ぐ具体的な運動実践方法を学ぶ体験型研修です。



「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」  
令和2年3月策定 (エイジフレンドリーガイドライン)



ガイドライン情報

全ての働く人々に安全・健康を ~ Safe Work, Safe Life ~

**JISHA 中災防**



高齢労働者のケガ防止と体力向上に関する研修のご案内

# 高齢労働者の安全と健康確保のためのセミナー



## 安全衛生教育専門コース

ガイドラインに規定された高齢労働者に対する教育、管理監督者等に対する教育について、①高齢労働者に対する安全衛生教育の内容、管理監督者の責任や配慮すべき点を体験しながら学ぶ「基礎編」、②安全衛生教育の具体的な進め方と指導方法を学ぶ「実践編」の2つのコースをご用意しています。

教育を体験

### 基礎編



#### 講義・実技 高齢労働者向け教育の実際

安全と健康確保の意識づけ、体力チェックの対応、生活習慣改善、コミュニケーション等

#### 講義 管理監督者向け教育の実際

管理監督者の責任と経営に及ぼすリスク、就業上の配慮や注意点等

#### グループワーク 教育を実施する上での課題

参加者間で情報交換

日時

第1回 2020年10月19日(月) 9:30~17:00

第2回 2021年3月4日(木) 9:30~17:00

指導方法を学ぶ

### 実践編



#### 講義・演習 安全衛生教育の進め方

次の対策に必要な姿勢、バランス、ストレッチ等の運動の内容やその留意点及び生活習慣改善についての指導演習

①転倒対策

②肩こり、腰痛、膝痛対策

③生活習慣病対策

日時

第1回 2020年10月20日(火) 9:30~17:00

第2回 2021年3月5日(金) 9:30~17:00

**対象者** 安全管理者、衛生管理者、産業保健スタッフ、RSTトレーナー、人事労務担当者、THP指導者等の安全衛生教育を担当する方

**会場** 安全衛生総合会館(東京都港区) **取得単位** THP指導者登録 3単位

**参加費** 中災防賛助会員 19,800円/THP登録者 19,800円/一般 22,000円  
\*いずれも資料代、消費税10%含む \*中小規模事業場割引サービス申請中

#### 新型コロナウイルス感染予防の取り組み

研修の実施に際しましては、受講者の健康状況の確認(体温チェック等)、身体的距離に配慮した座席配置、机・椅子・ドアノブ等の定期消毒、消毒液の配置、換気の徹底等のほか、受講者の皆様にマスクの着用をお願いしています。

